

2015年度（2016年3月期）
決算説明会

2016年5月12日

(1) 2015年度 トピックス

半導体事業 / 大判プリンタ事業

- ◆ 半導体事業の新会社設立及び事業移管
株式会社日本政策投資銀行と共同出資で新会社を
設立し、SIIの半導体事業を移管
2015年9月 正式契約締結・新会社設立
2016年1月 共同出資（当社持分60%）
 事業移管
- ◆ 大判プリンタ事業の譲渡
大判プリンタ事業を2015年10月1日、株式会社
沖データへ事業譲渡

(2) 2015年度 決算内容

2015年度 損益 – 通期 (4月-3月) –

(億円)	2014年度 (通期)	2015年度 (通期)	増減		
			増減額	増減比	
売上高	2,934	2,967	+32	+1.1%	
売上総利益	1,042	1,085	+42	+4.1%	
営業利益	116	133	+16	+14.1%	
%	4.0%	4.5%	+0.5p	-	
経常利益	123	118	△4	△4.0%	
%	4.2%	4.0%	△0.2p	-	
税前利益	246	88	△158	△64.2%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	217	121	△96	△44.2%	
%	7.4%	4.1%	△3.3p	-	
換算 レート	USD	109.8	120.1	+10.2	+9.3%
	EUR	138.6	132.5	△6.0	△4.4%

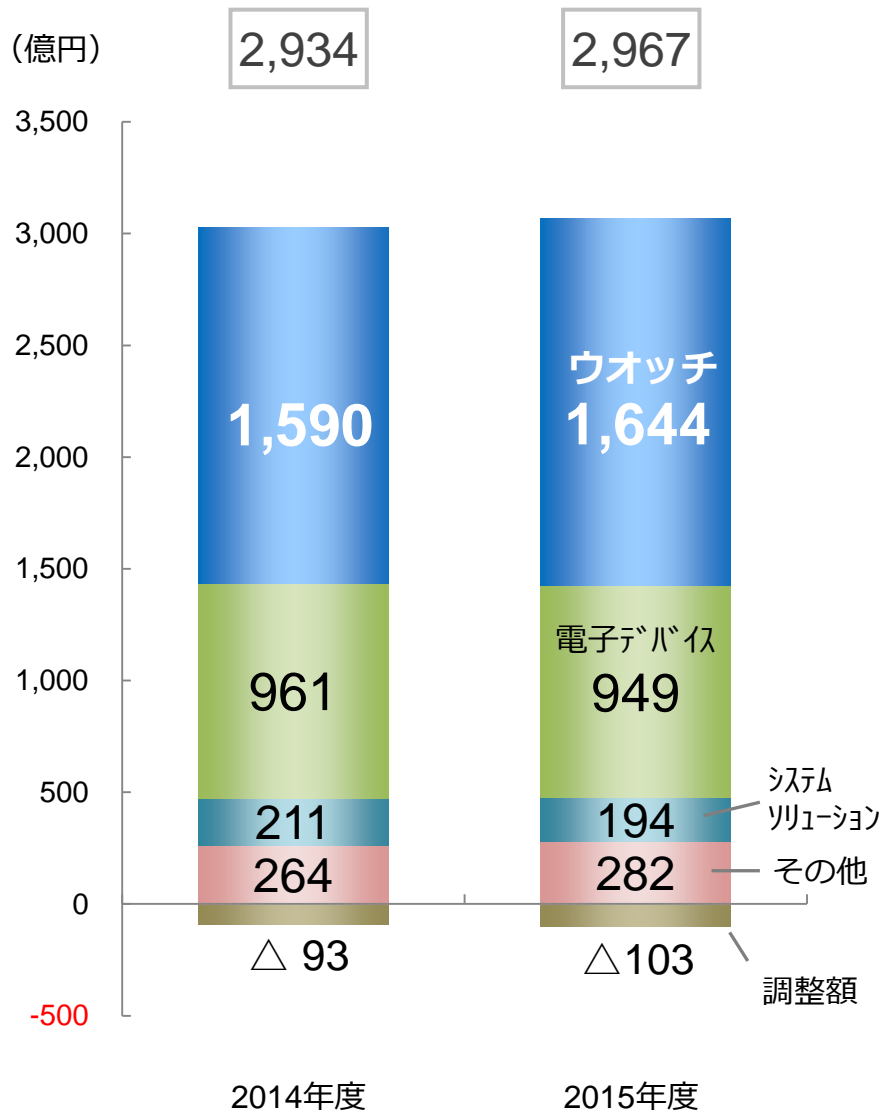
売上高 :	対前年	+32
為替による影響		約+115

営業利益 :	対前年	+16
売上総利益増加		+42
経費増加(広告宣伝費等)		△26

経常利益 :	対前年	△4
営業利益増加		+16
支払利息減少		+9
為替差損益悪化		△27
持分法投資損益悪化		△1
その他営業外収益悪化		△1

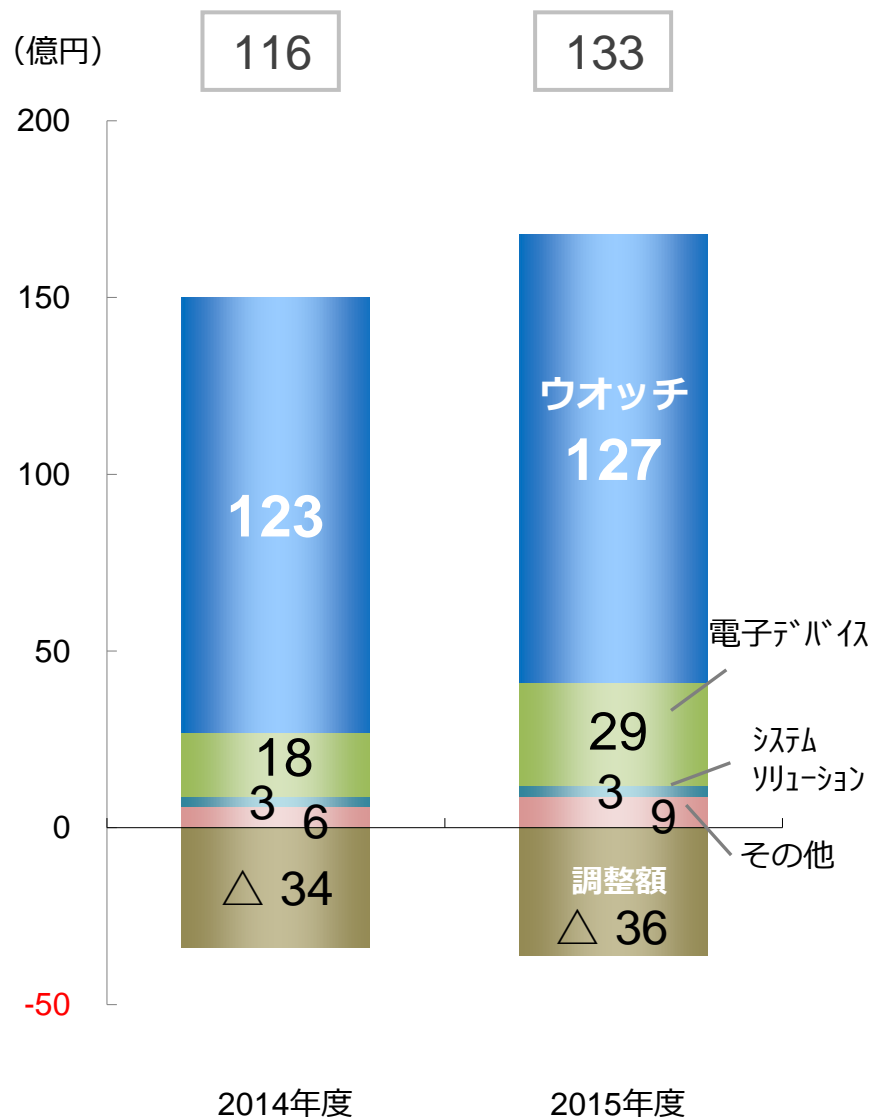
特別損益内容 :	△30
特別利益	4
固定資産売却益	4
特別損失	△35
固定資産売却損	△1
事業構造改善費用	△23
減損損失	△4
事業再編費用	△4
固定資産除却損	△1

事業別売上高 – 通期（4月-3月） –



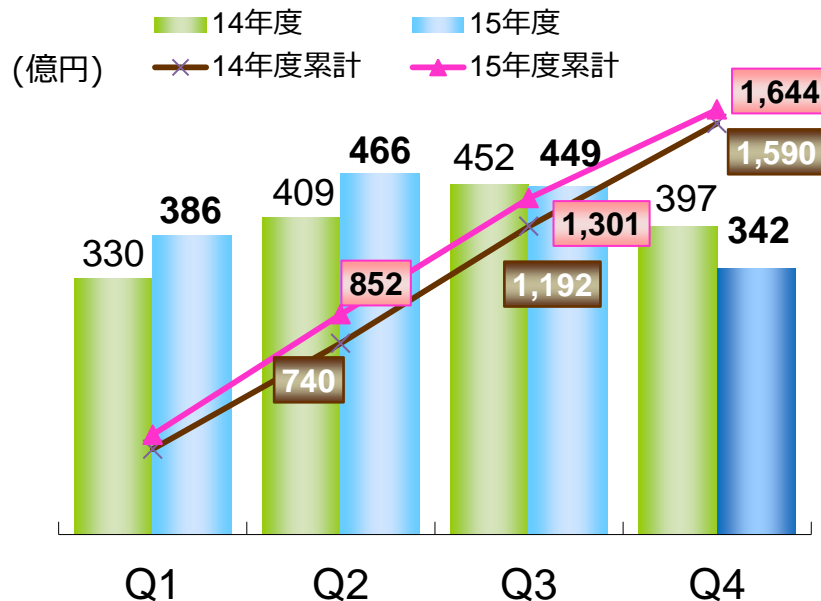
(億円)	売上高		
	2014年度 (通期)	2015年度 (通期)	増減
ウオッチ事業	1,590	1,644	+53
電子デバイス事業	961	949	△12
システムソリューション事業	211	194	△16
計	2,763	2,788	+24
その他	264	282	+17
調整額	△93	△103	△9
連結計	2,934	2,967	+32

事業別営業利益 – 通期（4月-3月） –

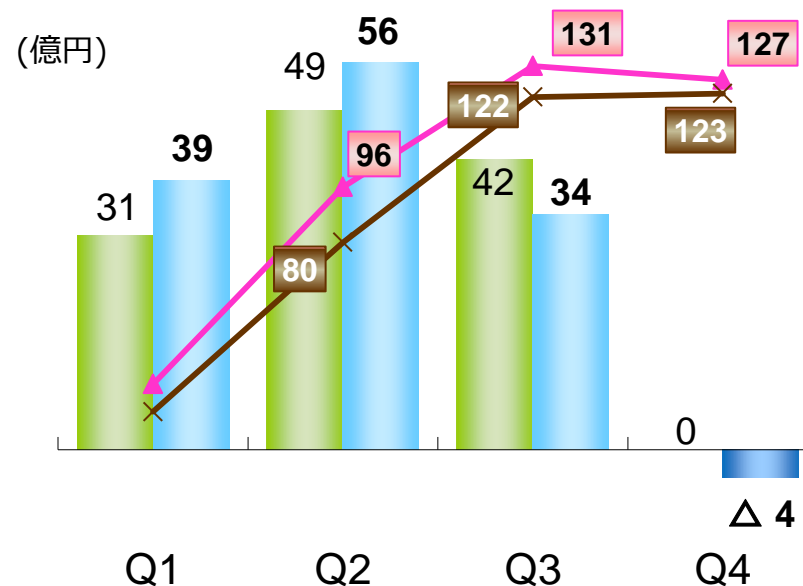


(億円)	営業利益		
	2014年度 (通期)	2015年度 (通期)	増減
ウォッチ事業	123	127	+3
電子デバイス事業	18	29	+10
システムソリューション事業	3	3	+0
計	145	160	+14
その他	6	9	+2
調整額	△34	△36	△1
連結計	116	133	+16

売上高

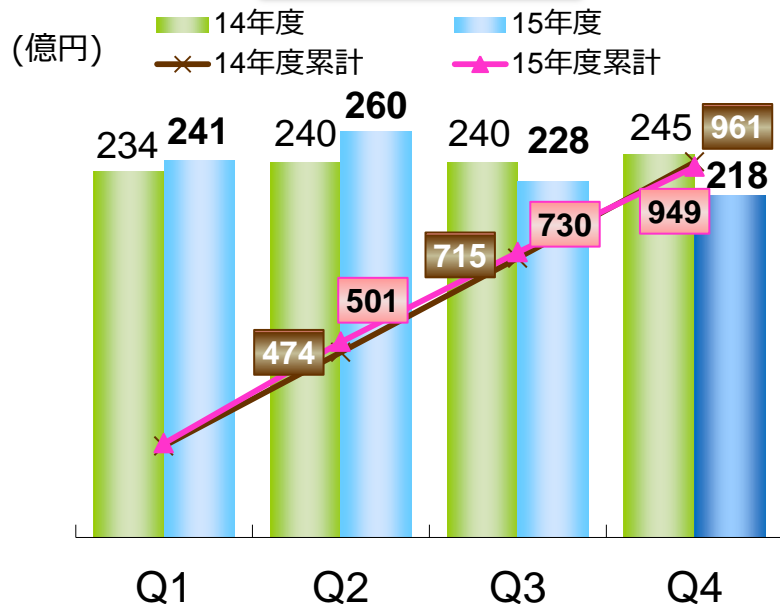


営業利益

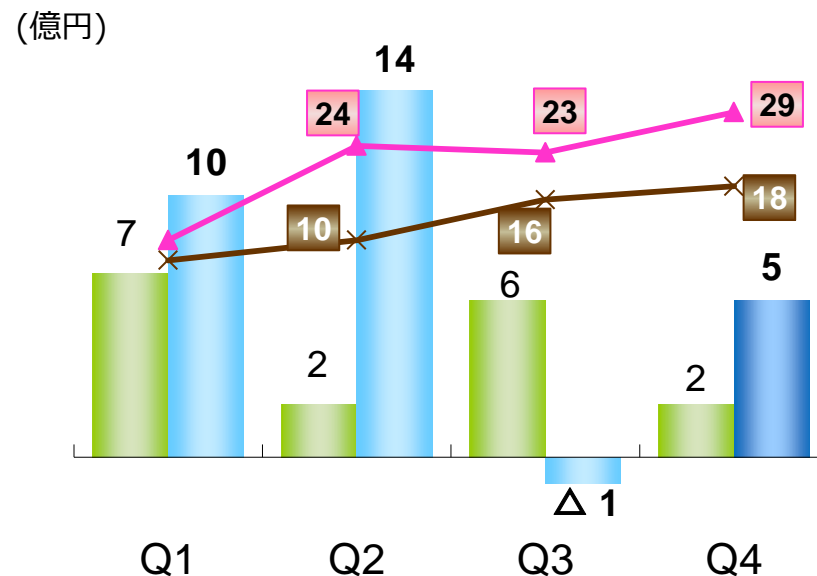


- 完成品ウォッチ：「グランドセイコー」、「メカニカル（プレザージュ）」やレディース（国内）**
 ウォッチの「ルキア」などが牽引し、堅調に推移。普及価格帯商品の「アルバ」も順調に売上を伸ばした。
- 完成品ウォッチ：ドイツや台湾などが引続き好調だったほか、3月にシドニーにブティックを（海外）**
 オープンしたオーストラリアも現地通貨ベースで前年を上回った。一方、中国や香港の売上は中国経済の減速の影響を受けて伸び悩んだ。
- ムーブメント**：標準ムーブメント、付加価値ムーブメントは市場が低迷し、厳しい状況が続いた。

売上高

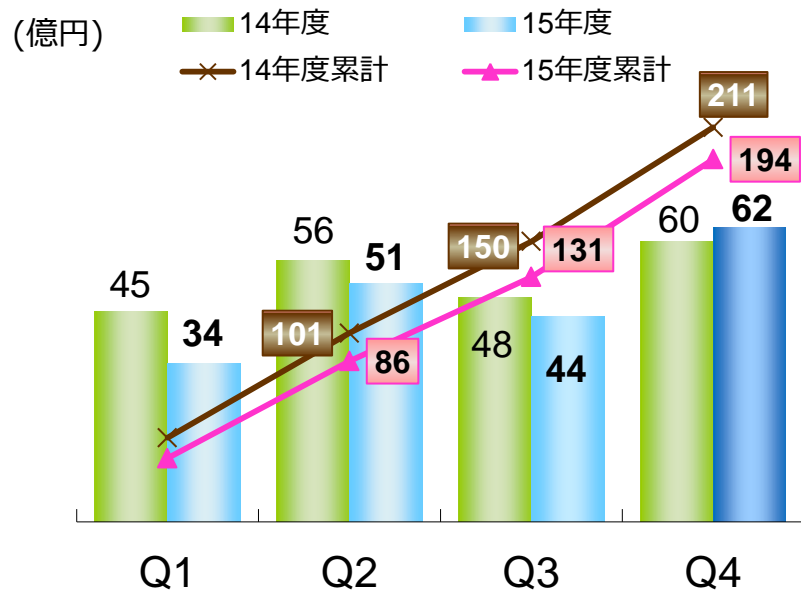


営業利益

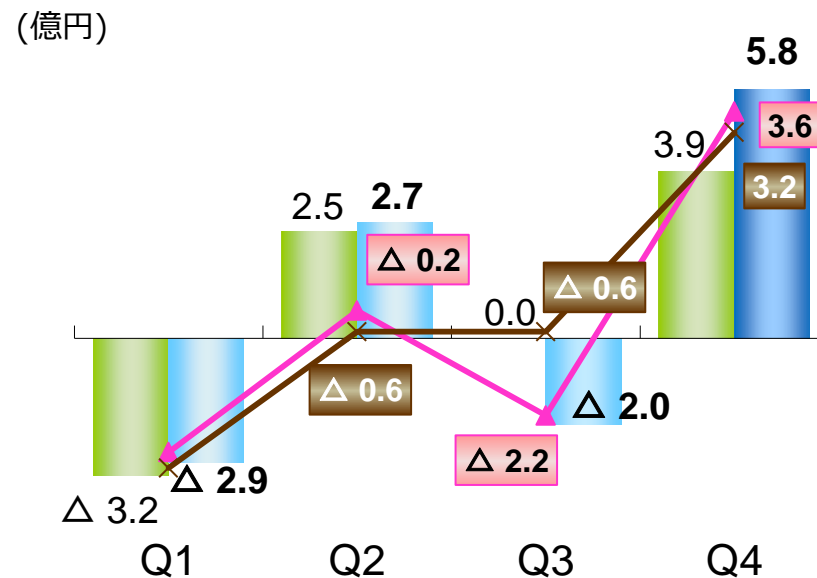


- デバイス** : 半導体はスマートフォン向け電源ICを中心に上期順調に推移したものの、オシレータ用ICなどが苦戦した。水晶振動子の売上は堅調。
- メカトロニクス** : ハードディスクコンポーネントは安定して推移し、カメラシャッター関連も前期から大きく改善。
- その他** : 大判プリンタ事業を2015年10月で沖データへ譲渡したことにより売上高は減少したが、インクジェットプリントヘッドや小型サーマルプリンタが順調に売上を伸ばした。

売上高

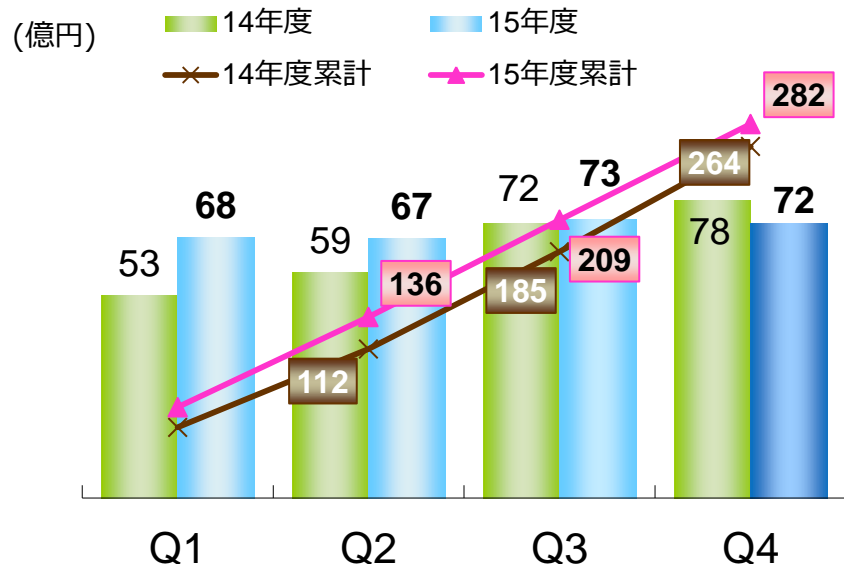


営業利益

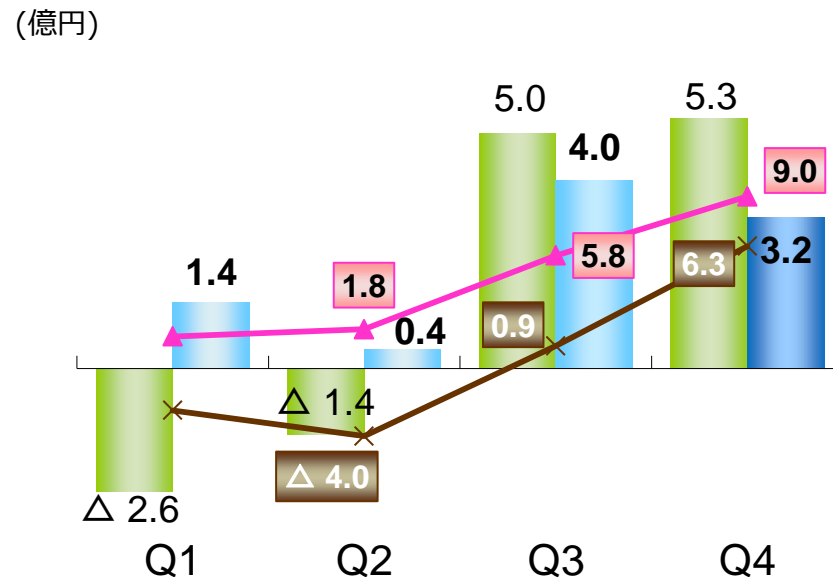


- ・ 決済関連ではモバイル決済中継センターを中心にデータサービス事業の売上が拡大したが、モバイル通信関連でコンシューマ向け製品が大幅に減少した。外食産業向けの製品も業界全体の落込みの影響により売上が伸び悩んだ。

売上高



営業利益

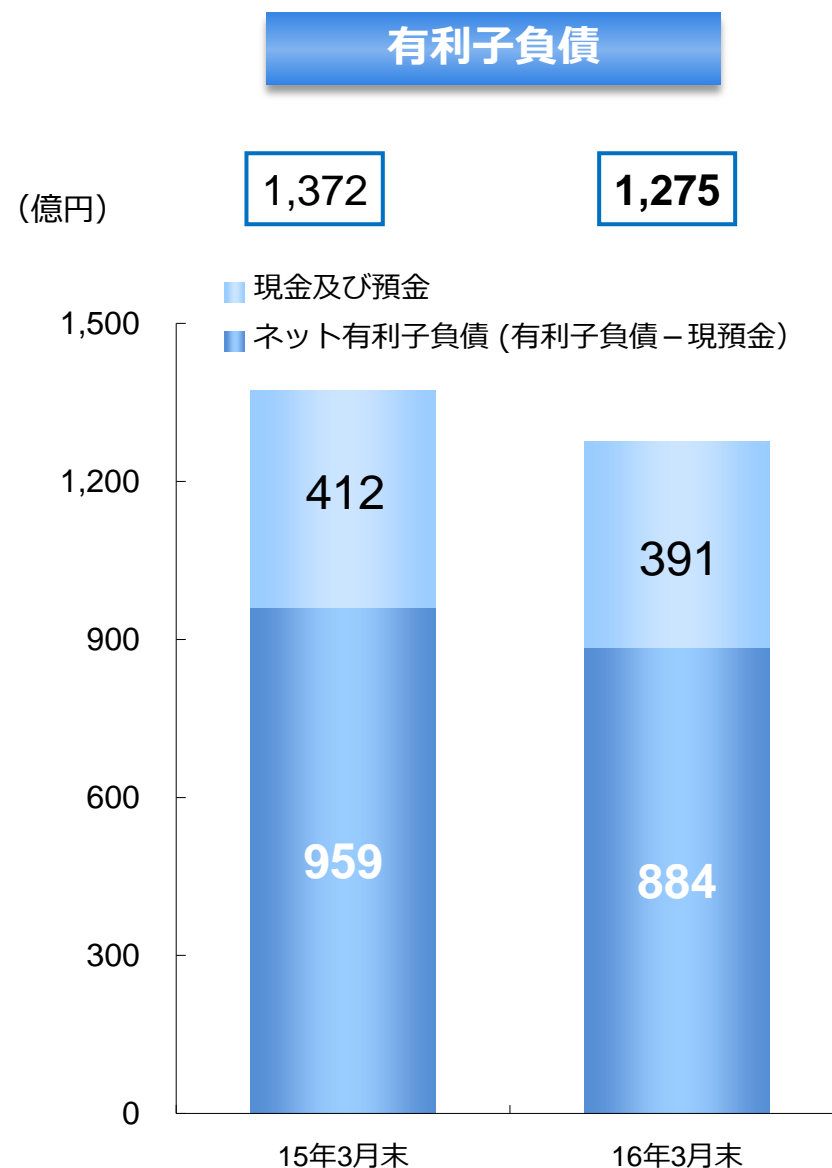


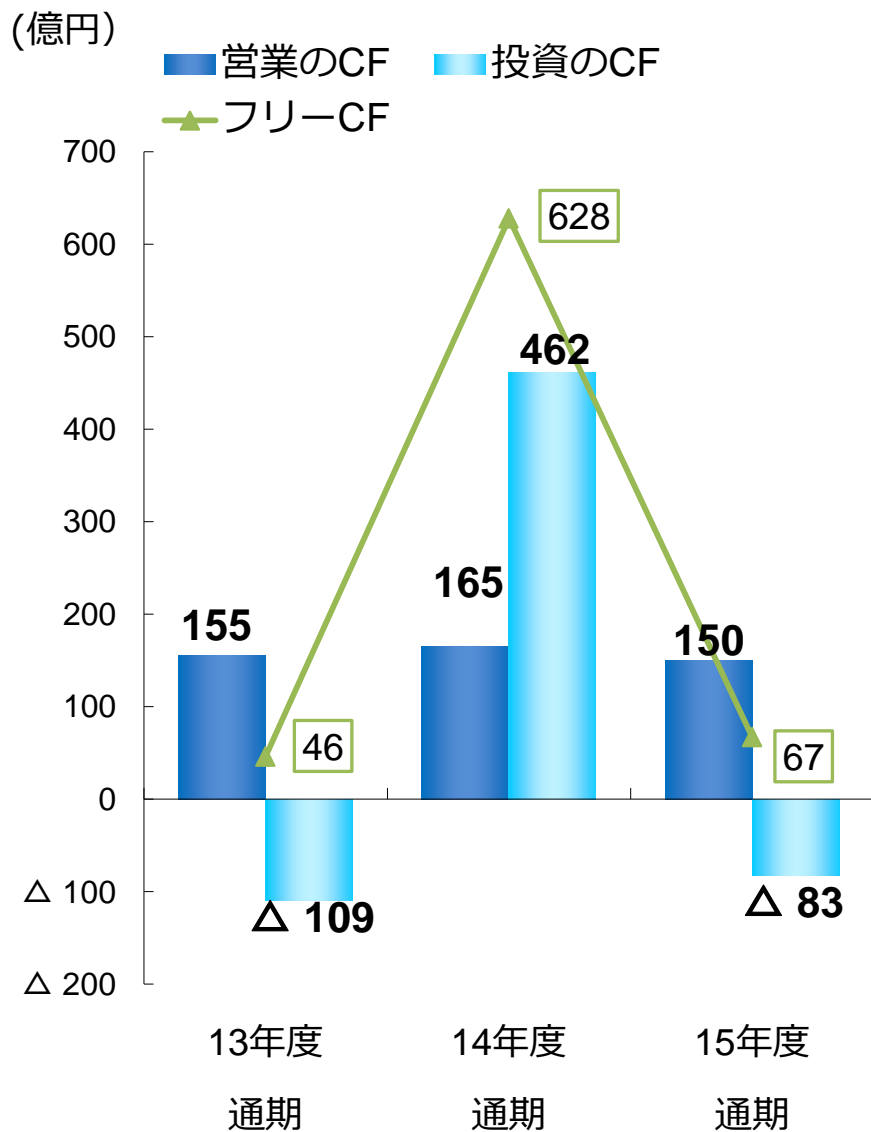
- ・クロック : 国内を中心に順調に収益を伸ばした。
- ・その他 : 和光は第4四半期に入り高価格商品の売上に訪日観光客の購買傾向に変化が見られたものの、通期では堅調に推移した。

(億円)	2015年 3月末 (a)	2016年 3月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	629	651	+22
有利子負債	1,372	1,275	△96

純資産	925	1,026	+101
総資産	3,337	3,291	△45

自己資本比率	27.1%	28.7%	+1.6p
ネットD/E レシオ	1.0	0.8	△0.2
従業員数	13,565	13,437	△128





(億円)

	13年度 Q4累計	14年度 Q4累計	15年度 Q4累計
税引前当期純利益	87	246	88
減価償却費	122	108	103
その他	△54	△190	△40
営業のキャッシュフロー	155	165	150
有形固定資産の取得	△110	△93	△130
その他	0	556	47
投資のキャッシュフロー	△109	462	△83
借入金の借入・返済収支	△24	△629	△87
その他	△10	△38	20
財務のキャッシュフロー	△35	△668	△66
換算差額等	△13	17	△14
現金及び現金同等物	425	402	389
フリーキャッシュフロー	46	628	67

(3) 2016年度の見通し

(億円)	2015年度 実績	2016年度		対前年 増減
		上期	通期	
売上高	2,967	1,400	2,900	△67
営業利益	133	80	120	△13
%	4.5%	5.7%	4.1%	△0.4p
経常利益	118	80	120	+ 2
%	4.0%	5.7%	4.1%	+0.1p
親会社株主に帰属 する当期純利益	121	50	100	△21
%	4.1%	3.6%	3.4%	△0.7p

(億円)	売上高			営業利益		
	2015年度 実績	2016年度 見通し	対前年 増減	2015年度 実績	2016年度 見通し	対前年 増減
ウォッチ事業	1,644	1,600	△44	127	120	△7
電子デバイス事業	949	900	△49	29	30	+1
システムソリューション事業	194	200	+6	3	10	+7
計	2,788	2,700	△88	160	160	±0
その他	282	290	+8	9	10	+1
連結計	2,967	2,900	△67	133	120	△13

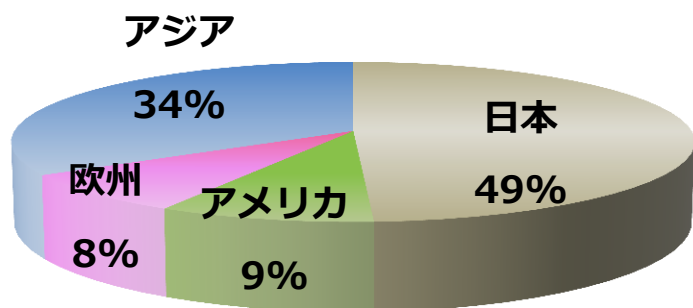
2016年度 為替感応度

	USD	EUR
見込レート	110.0円	125.0円
売上高	約13.0億円	約1.5億円
営業利益	約2.5億円	約0.5億円

2015年度 実績

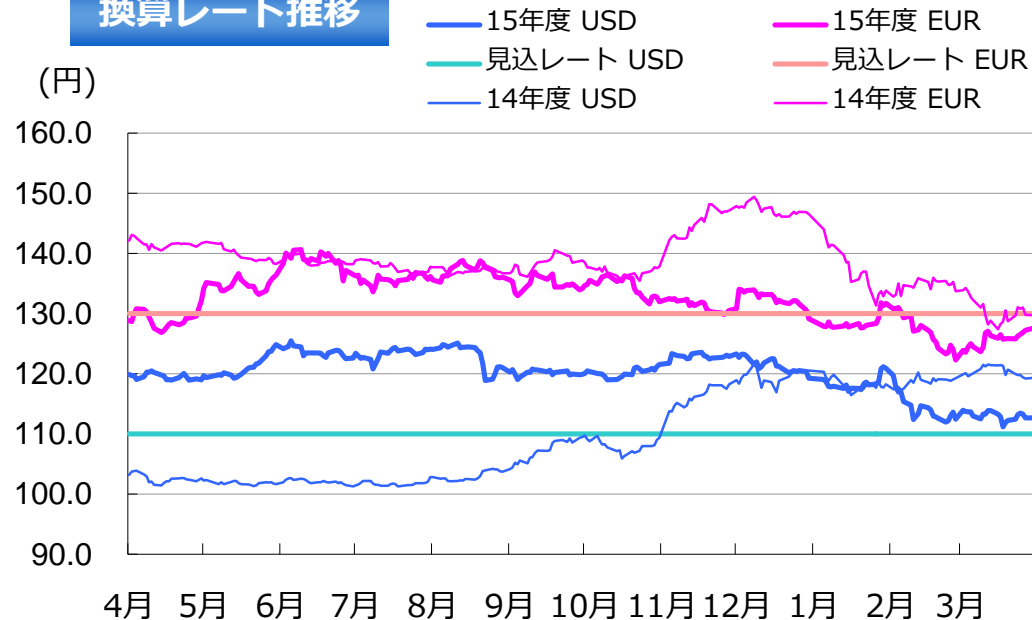
		Q1	Q2	Q3	Q4	年平均
平均 レート	USD	121.4	122.3	121.4	115.3	120.1
	EUR	134.2	136.0	133.0	127.1	132.5
決算日 レート	USD	122.4	119.9	120.5	112.6	—
	EUR	137.2	134.9	131.6	127.5	—

地域別売上高比率



* 2015年度実績値

換算レート推移



◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

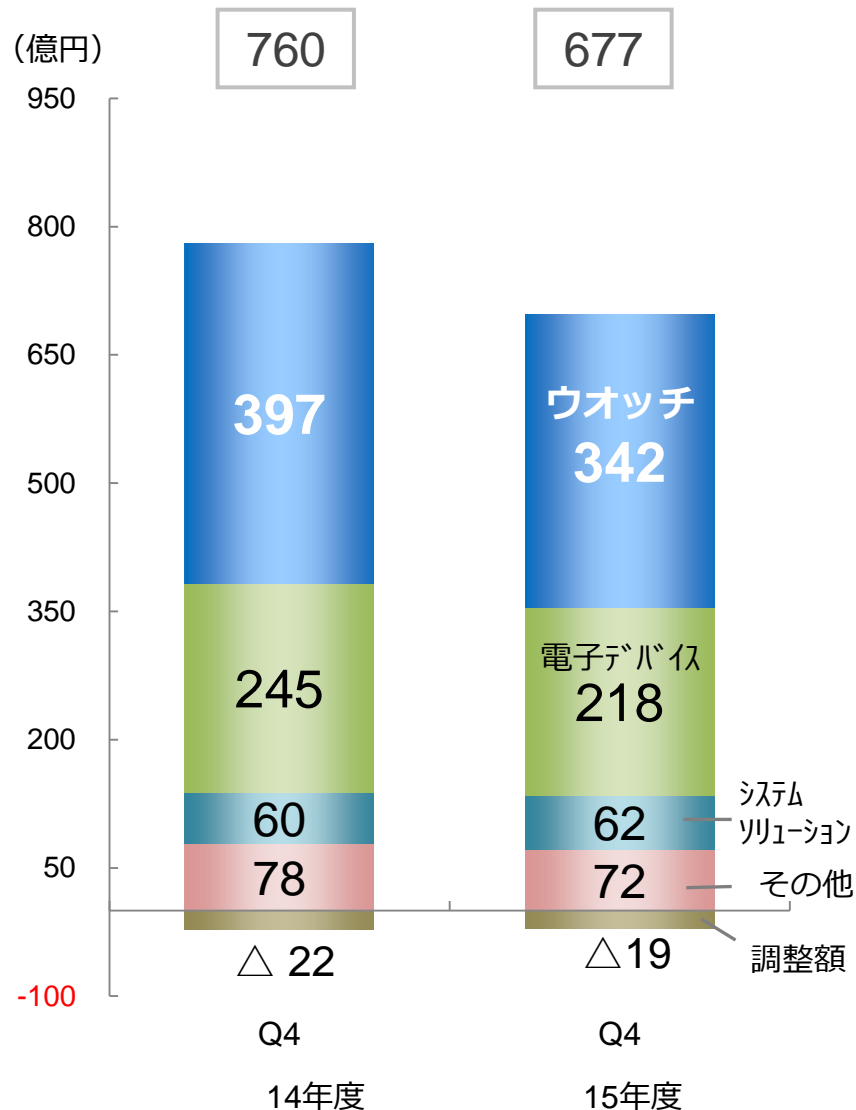
※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

参考

2015年度 損益 – 第4四半期 (期間 1月-3月) –

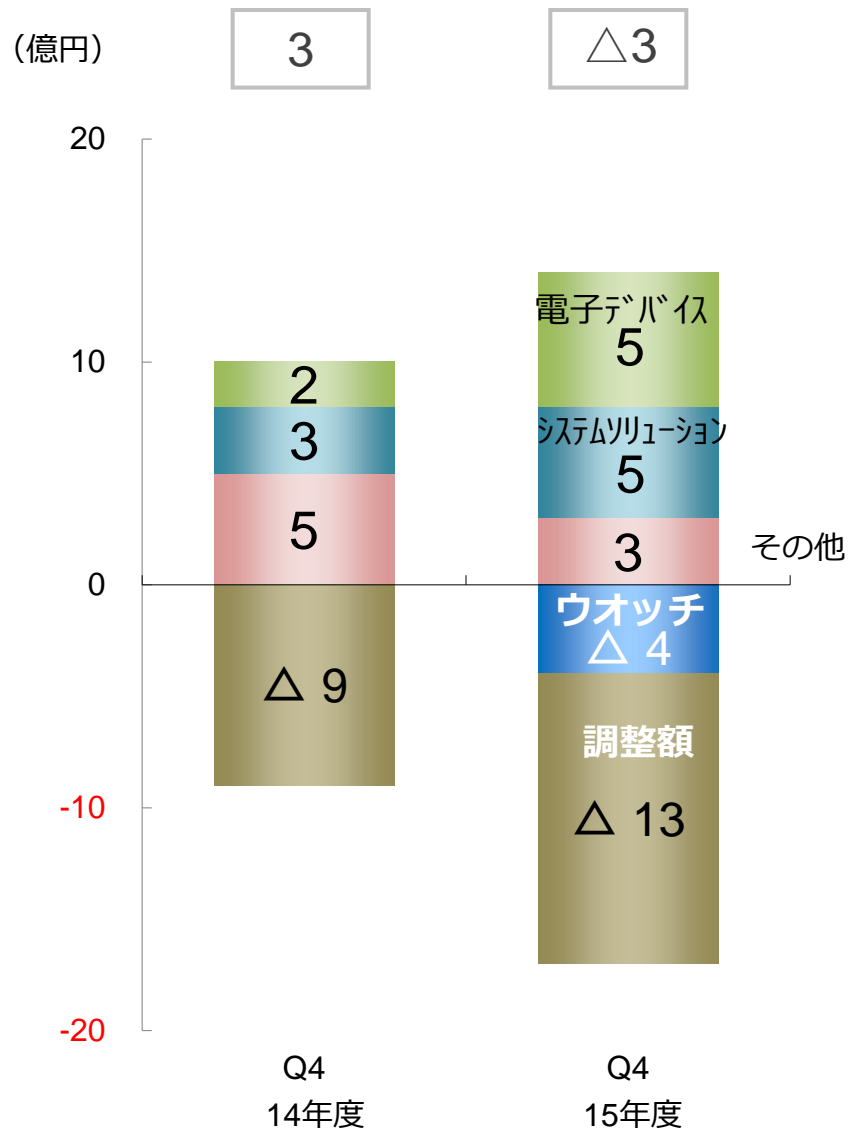
(億円)	2014年度 Q4	2015年度 Q4	増減			
			増減額	増減比		
売上高	760	677	△83	△11.0%	売上高： 対前年 △83 為替による影響 約△15	
売上総利益	257	244	△12	△5.0%	営業利益： 対前年 △6 売上総利益減少 △12 経費減少 +6	
営業利益	3	△3	△6	△198.0%	経常利益： 対前年 △19 営業利益減少 △6 支払利息減少 +0 為替差損益悪化 △8 持分法投資損益悪化 △0 その他営業外収益悪化 △4	
%	0.4%	△0.5%	△0.9p	—		
経常利益	△2	△22	△19	—	特別損益内容： △16 特別利益 1 固定資産売却益 1 特別損失 △18 固定資産売却損 △1 事業構造改革費用 △7 事業再編費用 △4 減損損失 △4 固定資産除却損 △0	
%	△0.3%	△3.3%	△3.0p	—		
税前利益	△36	△38	△2	—		
親会社株主に帰属 する当期純利益	△22	△5	+16	—		
%	△2.9%	△0.8%	+2.1p	—		
換算 レート	USD	119.1	115.3	△3.8	△3.2%	
	EUR	134.0	127.1	△6.8	△5.1%	

事業別売上高 – 第4四半期（期間 1月-3月） –



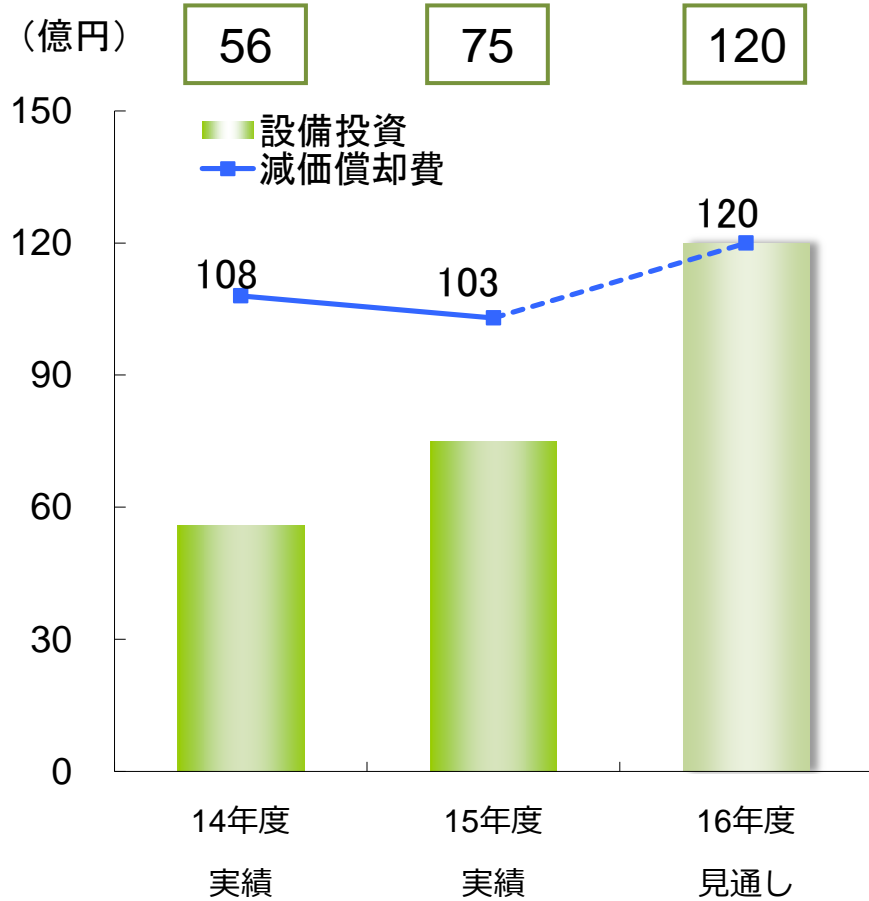
(億円)	売上高		
	2014年度 Q4	2015年度 Q4	増減
ウオッチ事業	397	342	△55
電子デバイス事業	245	218	△27
システムソリューション事業	60	62	+1
計	704	623	△80
その他	78	72	△6
調整額	△22	△19	+3
連結計	760	677	△83

事業別営業利益 – 第4四半期（期間 1月-3月） –

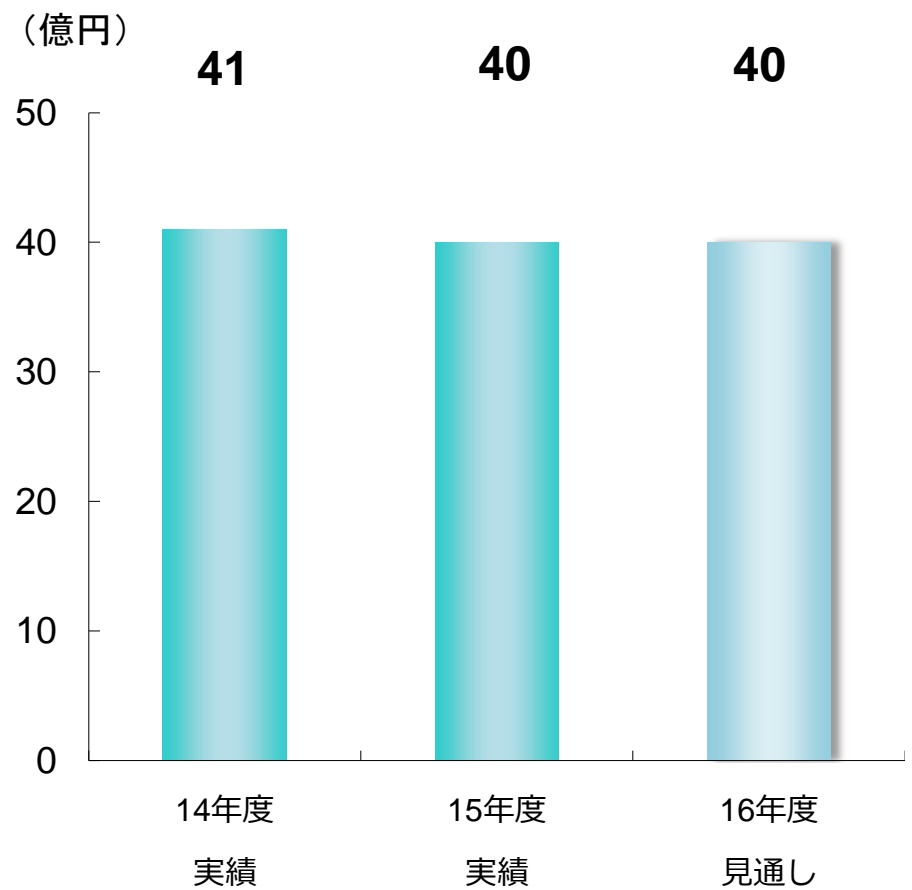


(億円)	営業利益		
	2014年度 Q4	2015年度 Q4	増減
ウオッチ事業	0	△4	△5
電子デバイス事業	2	5	+3
システムソリューション事業	3	5	+1
計	7	7	+0
その他	5	3	△2
調整額	△9	△13	△4
連結計	3	△3	△6

設備投資・減価償却費



研究開発費



* 2014年度は設備投資からオペレーティングリースに変更となった投資があったことや、2015年度に投資時期が変更になった投資があったこと等により設備投資額が低くなっている。

End
